

会 議 録

会 議 名	令和 7 年度第 2 回野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会		
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	1 第 1 0 期野田市シルバープラン（野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画）に係る各種調査の実施について（報告）（公開） 2 指定介護予防支援業務の委託について（報告）（公開） 3 地域密着型サービス等（地域密着型通所介護）事業所の指定更新について（報告）（公開） 4 地域密着型サービス等（認知症対応型通所介護及び介護予防認知症対応型通所介護）事業所の指定廃止について（報告）（公開）		
日 時	令和 7 年 8 月 2 7 日（水） 午後 1 時 3 0 分から午後 2 時 3 5 分まで		
場 所	市役所高層棟 8 階 大会議室		
出席者氏名	副会長 小林 幸男 委 員 中林 隆 島田 恭光 後藤 史子 豊田 義雄 寺嶋 雪子 大用 菜穂子 遠山 康雄 中村 綾子 白島 智子 高森 輝行 山崎 美紀 山名 裕里 秦野 敏雄 須賀田 貞彦 藤本 司 澤田 健次郎 波戸 タカ子 中村 好枝 三輪 秀民 金剛寺 晴美 鏡 浩美 内藤 公子 事務局 小林 智彦（福祉部長）		

	蓮沼 憲治（介護支援課長） 石栗 章男（介護支援課長補佐兼介護給付係長） 中澤 裕（介護支援課長補佐兼管理指導係長） 田路 欣順（介護支援課管理指導係主任主査） 神吉 真帆（介護支援課管理指導係主任主事） 熊倉 凌（介護支援課管理指導係主事） 菅谷 美香子（介護支援課介護認定係長） 新津 翔（介護支援課介護認定係主査） 吉田 陽子（高齢者支援課長） 藤田 由美子（課長補佐兼高齢者支援係長） 中山 知子（地域包括支援課長） 三浦 明日香（地域包括支援課地域包括支援係長） 里見 秀（生活支援課長） 大月 加奈子（障がい者支援課長） 秋鹿 弥由紀（保健センター長） 山本 茂（市民生活部次長兼国保年金課長）
欠席委員氏名	会長 鈴木 隆一 委員 鈴木 剛 中山 道子 千葉 久美 藤井 愛子 柳田 信也
傍聴者	0名
非公開の事由	—
議 事	令和7年度第2回野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会の会議結果（概要）は次のとおりである。
介護支援課長補佐兼 介護給付係長	令和7年8月27日 午後1時30分、開会を宣言。 会議の成立を報告した。 欠席の委員を報告した。 会長が欠席のため、副会長が職務を代理することを報告した。

	会議録作成のため録音機を使用することを報告するとともに、発言について説明した。 会議の公開について説明した。 傍聴について説明した。 新委員の秦野委員を紹介した。
秦野委員	就任の挨拶
福祉部長	福祉部長より挨拶
小林副会長	議題1 第10期野田市シルバープラン(老人福祉計画および介護保険事業計画)に関わる各種調査の実施について(報告) 事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。
白島委員	理科大が入るのは一般介護予防調査の方だけか。
介護支援課長	理科大と共同研究する調査項目については、1番のニーズ調査の中の総合事業の多様なサービスの導入関する部分について共同研究としてさせていただき、6番の一般介護予防事業調査については全て東京理科大学と共同研究して、アンケート調査をする形となる。
白島委員	調査内容の分析が大事だと思う。 現況調査はアンケートなどでつかめるが、分析をしてこれから何を実行していくかが一番問題。分析の中に理科大は入らないのか。

介護支援課長	分析についても、東京理科大学と共同して実施する。
白島委員	今までどおりの国の調査項目で、例年どおりやるということだが、10期のシルバープランをどういうふう に効果的にやっていくのかという評価が必要だと思う。 この推進等委員会でも私も三輪委員等もいろいろな意見を申し上げた中では、より効果的に進めることが必要かと思う。10期では分析が一番大事かと思う。
介護支援課長	東京理科大学と調査研究アンケートの結果が1月末位に出るので、その1月から2月の中で理科大学と、分析を行う予定。
白島委員	2ページ目の在宅介護実態調査の中に、要支援者および要介護者の設問はあるが、介護者に対しての設問はどこにあるのか。
介護支援課長	介護者についても、この2番の設問の中に入っている。
白島委員	私どもの会社でも、実際介護休暇を取っている職員が多い。1ヶ月介護休暇を取って自分の両親の介護をしているというところが多いので、ここは非常に大事になると思う。実際介護をしている人によく聞いていただきたい。 それから、お願いであるが、野田市の地域の中で、例えば介護者にとって、在宅介護を続けることができ

介護支援課長	るサービスや、要介護者にとって、あればもっと元気でいられるようなサービスを聞き取るような項目を設けていただきたい。 調査項目自体これから作業を始めるところなので白島委員のご意見も踏まえて項目を調整する。
三輪委員	調査項目に関して1番から6番までいずれも重要だと思う。とりわけ4番目の介護サービス事業所に注目している。 以前この会議で申し上げたが、全国の介護サービス事業所が運営に苦戦しており、倒産も少なからずあると聞いている。 これから要介護者や要支援者が増加すると見込まれる中、介護サービス事業所が減少することは由々しき事態である。事業所が苦戦しているその背景として、介護支援専門員、介護福祉士、ホームヘルパーなどの人材確保が容易ではないことがその一因であるとも言われている。 野田市が前回の計画策定時に行った各種調査の報告書13ページで、事業経営上の問題として、職員の確保は難しいという点が、78.5%とトップとなっていた。 3年を経て今回の調査となるが、この状況は一層厳しくなっていると思われる。 以上を踏まえて今回の調査に当たっては、介護サービス事業所は何に困っているのか、行政に何をして欲しいのかというような趣旨の質問項目を設定してはどうか。また、自由記述欄を設け率直な意見を書いてもらうということを検討されてはいかがか。自由記述欄

介護支援課長	の中に先ほどの白島委員からも御指摘あった、自由に意見が述べられるように設定されたアンケートといったものにするとういのはいいのではないかなと思う。 4 番の介護サービス事業所調査については、事業所の実態を把握することで、まず 2040 年に向けて生産年齢人口が減少する中、介護人材確保が、市としても最大の課題と思っている。まず、処遇改善を始めとする人材確保の取り組み、人材、介護人材の定着に向けた取り組みを検討するために、自由記載欄を設ける等、項目を調整したい。
山名委員	1 ページ目の 4 番の介護サービス事業所調査だが、配布予定数が 9 期のときは 180 だったが、今回 136 になっている。これはサービス事業所が減ったということなのか。他の調査の配布予定数は前回とほぼ同じだったが、かなり減っていたのでお聞きしたい。また、質問項目を検討中ということだったので、包括としては是非入れていただきたい質問がある。緊急連絡先、身元保証人になってくれる人がいるかどうかの質問項目を入れてもらいたい。最近、家族がいても関係が悪く、緊急連絡先、身元保証人になってくれない人が増えていて、ケアマネジャーの負担を増やしている。
介護支援課長	4 番目の介護サービス事業所調査については、全サービス事業所に実施していて、令和 4 年は 136 事業所に配布している。令和 7 年度も全サービス事業所に対し実施する。

小林副会長	他に意見をいただいた質問項目につきましては、検討させていただいて入れる方向で進める。 他に質問等を委員に問うた。 質問等なし。 議題２ 指定介護予防支援業務の委託について（報告） 事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。
白島委員	私達は介護事業所なので、なぜ福島県の事業者に委託するのかわかるが、介護に関係してない方はわからないと思うので、そこを説明していただいた方がよい。
地域包括支援課長	今回の場合は、介護予防の必要な方が、住民票は野田市に置きながら、家族の住む福島県に行き、近くの福島県の事業所を利用するため委託するもの。
小林副会長	他に質問等を委員に問うた。 質問等なし。 議題３ 地域密着型サービス等（地域密着型通所介護）事業所の指定更新について（報告） 事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。 質問なし。

	議題４ 地域密着型サービス等（認知症対応型通所介護及び介護予防認知症対応型通所介護）事業所の指定廃止について（報告） 事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。
白島委員	廃止されるのは利用者減のためと書いてあるが、認知症の方は増えているが、認知症対応型通所介護は利用者が減っているということなのか。
高齢者支援課長	認知症型対応の施設を開所した時にはなかったが、途中から認知症加算が通常の通所介護でも算定できるようになった。その上、認知症対応型と掲げていると、敬遠され、来たがらない状況が重なって利用者が減ってしまったと、事業所から聞いている。
白島委員	市内の認知症対応型デイサービスは、他に何施設あるか。
高齢者支援課	１者ある。
小林副会長	他に質問等を委員に問うた。 質問等なし。
	午後２時10分閉会を宣言